

**令和7年度島根県中学校英語弁論大会**  
**(高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会島根県予選)**  
**開催要項**

**1 主 催**

島根県英語教育研究会 読売新聞社

**2 後 援**

島根県教育委員会 奥出雲町教育委員会

**3 主 管**

仁多郡教育研究会外国語部会

**4 日 時**

令和7年9月26日(金) 開会式12:30～ (受付11:00～12:00)

参加人数によって受付・開会式の時間を変更する場合があります。

**5 会 場**

カルチャープラザ仁多 大集会室(3F)

(仁多郡奥出雲町三成436 TEL0854-54-2080)

**6 参加資格**

(1) 県内の中学校またはそれに相当する中学校に在籍する生徒で、校長が推薦した者。

(2) 1校につき1名とする。

(3) 次の項目に該当する場合は参加を認めない。

① 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(\*)に居住した者。

② 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことのある者。

③ 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(\*)出身の者がいる場合。

④ 過去に高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の中央大会にて1位～3位に入賞した者。

(\*)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

<http://www.jusafund.org>

(4) 上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。

(5) 個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は日本学生協会(JNSA)基金に帰属する。不明な点は、島根県中学校英語弁論大会事務局に問い合わせること。

**7 スピーチ規則**

(1) 論題

論題は自由とし、内容は、生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。剽窃は厳に禁止する。

(2) 制限時間

5分を超過してスピーチを行った場合、減点となる。

(3) 禁止事項

① マイクなど、音声機器は使用しない。

② 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。

③ 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由でやむを得ない場合は考慮する。

## 8 審査

各審査員（3名）が、Content, English, Delivery の3つの観点から、特にContent をより重点的に考慮し、100 点満点で評価する。ただし、昨今の中学生のスピーチ能力の向上を踏まえ、単なる観点別の部分点の合計でなく総合的なスピーチのアピール性を審査するため、観点別の厳密な配点は設けない。

(1) Contents

organization, clarity of the message, adequacy of supporting materials, etc.

(2) English

pronunciation, sentence structure, diction, etc.

(3) Delivery

posture, eye contact, voice projection, memorization, etc.

## 9 表彰

(1) 県英語教育研究会より

- ① 1位に優勝カップ（持ち回り）
- ② 1～3位入賞者に賞状と盾
- ③ 1～3位入賞者以外の上位6名に優良賞
- ④ 上記以外の参加者に奨励賞

(2) 読売新聞社より

- ① 1～3位入賞者に賞状、中央大会出場時に参加章（メダル）

## 10 参加申込

次の（1）（2）を締切日までに大会事務局（受付担当）まで申し込む。

(1) 参加申込書 【郵送】8月18日（月）必着

(2) 原稿及び日本語要約 【メール】9月 5日（金）必着

送付先

【大会事務局（受付担当）】

〒699-1821 仁多郡奥出雲町稲原2050-3

奥出雲町立横田中学校 糸原 保弘

E-mail : [itoharay@town.okuizumo.shimane.jp](mailto:itoharay@town.okuizumo.shimane.jp)

TEL 0854-52-2331 FAX 0854-52-2332

## 11 その他

- (1) 参加申込書提出後の論題、提出後の原稿について差し替えは一切認めない。
- (2) 提出された原稿は、提出されたそのままの状態、審査資料としてのみ活用する。原稿の返却は行わない。
- (3) 参加者、関係者、来場者に配付するプログラムに、氏名、学校名、学年、提出された日本語要約を記載する。
- (4) 読売新聞社が取材した記事および写真を媒体や資料等に掲載する。また、写真や動画を主催者および主催者の許諾した団体が、広報や記録で活用する場合がある。
- (5) 宿泊が必要な場合は各校で手配する。
- (6) 決勝予選大会、決勝大会について

本大会入賞の上位3名が11月26日～11月28日に東京で開催が予定されている高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会（中央大会）の参加資格を得る。なお、中央大会に参加する生徒の往復交通費と宿泊費は規定に基づき主催者が補助する。